

地域伝統作物や地域の希少植物の 起源・多様性の解明

キーワード 植物遺伝育種, DNA解析, 起源・多様性

2

創設を
ゼロに

4

質の高い教育を
みんなに

15

緑の豊かさも
守ろう

■ 研究概要

私たちの周りには様々な植物があふれています。しかし、身近な植物がどんなルーツを持ち、どの程度の多様性をもっているかについてはほとんど知られていません。私たちは、山形県の県花“ベニバナ”、伝統的な繊維作物“青苧（アオソ）”、飛島と佐渡島の固有植物“トビシマカンゾウ”とその近縁の“ニッコウキスゲ”、希少な耐湿性野生ムギ類“ミズタカモジ”などのDNA解析を行い、系統的起源と多様性の解明を目指しています。

これらの作物・植物のルーツを知るとは地域の農業や自然の特徴を理解すること、さらには地域の歴史を知ることにつながります。まら、これらの作物・植物は私たちにとって非常に身近で地域のシンボルになっていますが、栽培されなくなっているもの、数が減少し絶滅危惧種になっているものもあります。これらを保全し、希少植物や伝統作物を後世に残していくため、多様性を把握することは重要です。また、これらの研究は自治体やNPO、ジオパークとの連携で行っており、地域住民が行っている地域起こし活動や、地域の未来を背負う子供たちの植物や自然への理解を深める教育にもつながっています。



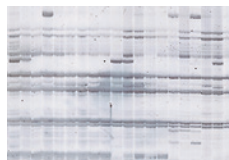
山形県の県花
“ベニバナ”



山形県や会津、沖繩宮古島な
どの伝統作物“青苧(あおそ)”



佐渡島と飛島の固有植物
“トビシマカンゾウ”



DNA解析の例。ベニバナの多様
性をAFLP法で検出したもの。

■ どのような共同研究・連携に結びつけられるか？

- ・ 地域作物や植物の保全や地域起こしへの利用を目指す自治体・団体との共同研究
- ・ 地域作物や植物を教育に生かそうとしている学校との連携
- ・ 地域作物や植物の利用を検討している民間会社との共同研究

笹沼 恒男 准教授 SASANUMA, Tsuneo

専門分野：植物遺伝・育種学

E-mail : sasanuma@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

